

# 各市町による防災意識向上の取組み

# 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

- 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上
- タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練

岡山市では、平成29年の台風で「旭川水害タイムライン」の運用を4回行い、運用について検討会やワークショップを開催し振り返りを行いました。また、今後更なる深化を図るため、平成30年3月にシンポジウムを開催しました。

- ・ 検討会では、「タイムラインを継続的に活用すること」を目的として、平成29年の台風シーズンにおける各機関のタイムラインの運用状況や防災対応について振り返りました。
- ・ 参加者は機関ごとに平成29年の台風対応、タイムラインの効果と課題について議論し、タイムラインを継続的に活用するための改善点として整理しました。
- ・ また、「旭川水害タイムライン」については、策定から1年が経過し、今後更なる深化を図るため、災害から命を守る取り組みについて学ぶシンポジウムを開催しました。

## 検討会での振り返りの様子



平成29年の台風対応について発表



タイムラインに関する課題の整理



顔の見える関係を重視した円形配置



活発な意見交換

## 「みんなで考えるタイムライン防災～旭川水害タイムライン シンポジウム～」の様子



大森岡山市長の基調講演



関係機関によるパネルディスカッション

## ■水防災に関する説明会の開催

倉敷市では、自主防災組織を対象に防災出前講座を実施しています。  
また、自主防災組織と協同し、防災訓練や災害図上訓練を実施しています。

### 【防災出前講座】

地域の集会所や公民館まで防災危機管理室職員が出向き、地域の危険性や備えなど、具体的にお話しします。(平成29年度実績:38回、4,505人 ※平成29年12月末時点)

### 【図上防災訓練DIG(連島東小学校)】

実際に災害が起きたとき、どのような対策をとれば良いかをみんなで話し合い、DIG(災害図上訓練)を行いました。地域で行うべきことや各家庭ですべきことなど、参加者みなさんで地域の防災について考えました。

### 【防災訓練】

避難訓練と合わせて、倉敷消防署と消防団葦高分団の協力により、心肺蘇生方法の体験や、土のう作り訓練、災害伝言ダイヤル体験など、7つの防災体験コーナーを開設しました。

### 管内図



倉敷市立 葦高小学校  
実施日:平成29年11月26日  
参加者:約300人

倉敷市立 連島東小学校  
実施日:平成29年11月12日  
参加者:約計50人



災害図上訓練DIGの様子  
(連島東小学校区)



防災出前講座、土のう作り訓練の様子  
(葦高小学校)



# 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備



## ■防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布

### ① 防災ラジオの配付

緊急時の情報伝達手段の多様化を推進するため、防災ラジオ「緊急告知FMラジオ」を避難所、自主防災組織、消防団、公共施設などへ配付した。

## 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

## ■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるごとまちごとハザードマップ整備

### ② 防災マップづくり

まち歩きを通して住民の目で危険箇所を確認し、全員の意見を取り入れたマップを作成することにより、防災意識を高めるとともに、災害への対処を学んだ。



## 防災教育や防災知識の普及

## ■水防災に関する説明会の開催

### ③ テント村を再現して避難所体験訓練を実施

防災訓練時に一般参加者を募集して野営訓練を行い、熊本地震の被災者の体験談及び非常食を活用して炊き出し訓練を実施した。



## ■要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進



※平成29年8月時点



施設の「土砂災害対応マニュアル」

備前市盲養護老人ホーム・特別養護老人ホーム備前多聞荘では土砂災害の警戒区域内に立地していることから土砂災害対応マニュアルを作成

### Point1

施設の災害リスクを把握し、避難方法を検討

### Point2

避難にかかる時間の算出

### Point3

避難開始のタイミングの確認

<http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/pdf/hinanjireishu.pdf>

## ■水防災に関する説明会の開催

岡山河川事務所調査設計課より吉井川水系吉井川に係る浸水想定区域の説明を行い、その後想定最大規模降雨を想定した災害図上訓練を行った。

実施日

平成29年8月1日

講師

山口大学大学院 創成科学研究科 准教授  
消防庁 消防大学校 客員教授 瀧本 浩一 氏

国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所  
調査設計課、防災情報課

対象者

市長、副市長、教育長、市職員(部長級、課長級)  
約30名



## ■要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進

### 【要配慮者利用施設における避難訓練】

台風の接近に伴う集中豪雨により、赤磐市において、「大雨（土砂災害）警報」、「土砂災害警戒情報」が発表され、土砂災害が発生する危険が生じているとの想定のもと、各種防災活動を実施しました。

### 【福祉避難所開設訓練】

災害時において避難所生活になじめない要配慮者にとって福祉避難所は精神的・肉体的に安定した避難所生活を送れる場所であることを認識し、市担当者、住民、関係団体（福祉施設含む）の連携を確認することにより、今後発災時の事態に対処できるように連絡体制の整備及び開設マニュアルの修正を図ることを目的として訓練を行いました。



## ■効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成

### 【地区防災マップ】

まち歩きによる危険個所の点検、災害図上訓練(DIG)等を行い、最終成果として住民自らの関わりによる防災マップを作成し、その過程での意見交換を通して、住民の防災意識を啓発し、実際に災害が起きた時の対処法などを学びました。



## ■水防災に関する説明会の開催

### 【防災カフェ】

備蓄しているアルファ米を活用して非常食の体験試食を行い、非常食とはどんなものか知ってもらうため、防災イベント来場者に広く防災啓発を行いました。





# 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

## ■防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布

### ・防災ラジオの配布

防災情報の伝達手段の多様化を推進するため、公共施設、学校、介護施設、自主防災組織等に配布している。

## より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

### ■関係機関が連携した実働水防訓練の実施

#### ・土のう積み訓練の実施

浸水被害に対応するため、土のう積み訓練を総合防災訓練の中で行った。

## 防災教育や防災知識の普及

### ■水防災に関する説明会の開催

#### ・出前講座の実施

町内会、自主防災組織などに出向き、地域の災害特性に合わせた内容で防災講話等を行い、防災意識の向上を図っている。



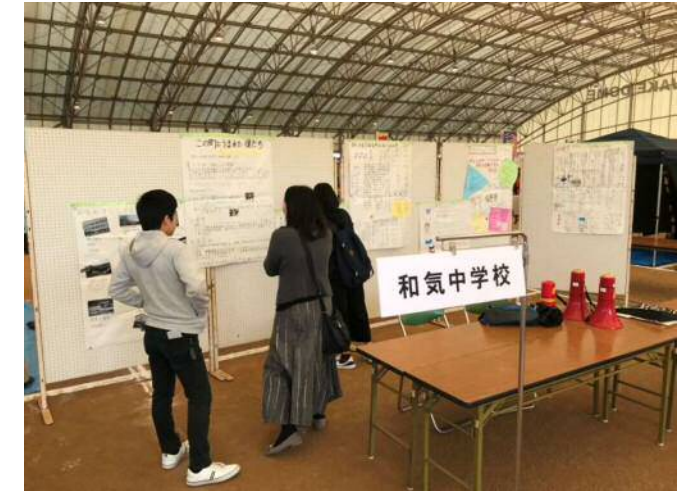
防災出前講座



土のう積み訓練

## ■水防災に関する説明会の開催

**11月23日開催の「和気町ふるさとまつり」に防災ブースを出展しました。（一財）防災教育推進協会のミニ防災検定や和気中学校の生徒による防災研究の発表を実施し、大勢の方にご参加いただきました。**



## ■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるごとまちごとハザードマップ整備

**和気町では、防災意識の啓発や知識の向上を図る目的で、町内の小中学校で積極的に防災に関する授業を取り入れています。**



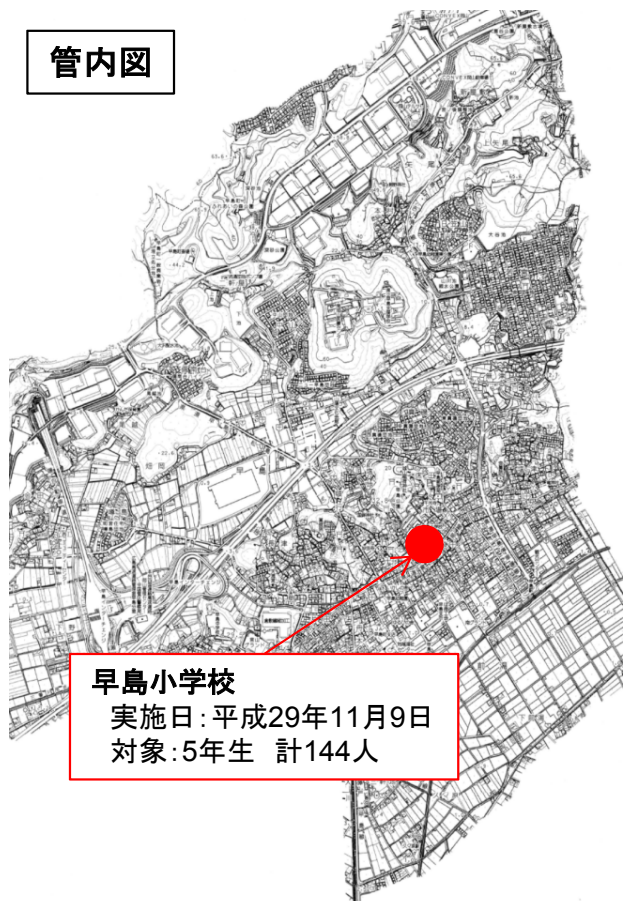
## ■教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施

早島町では、早島小学校において、5年生を対象とした出前講座を実施しました。

早島小学校では、5年生の総合教育として通年で防災教育を行っています。平成29年11月9日には、これまでの防災教育の中で考えた災害時の課題やその対策について、「自助・共助・公助」の観点から、それぞれ外部講師と質疑応答を行う形で出前講座を実施しました。

水害については、避難方法について質問があり、「水平避難」と「垂直避難」について説明を行っています。

管内図



**早島小学校**  
 実施日：平成29年11月9日  
 対象：5年生 計144人

出前講座の様子



講座後のまとめ発表の様子

